

## フリーソフト・音声認識ランチャー

JJ1SXA/池

フリーソフト・音声認識ランチャーFLight (エフライト)は、パソコンのマイクを通してユーザーの声を認識し、該当するアプリを起動するというもの。

最大10個までアプリを登録可能で、それぞれアプリ名などで起動でき、アプリだけで無くファイルを声で開くことも可能だ、インストールは不要で、実行ファイルをダブルクリックして起動、表示されたソフトの画面は自動的にタスクバーに最小化され、音声待機状態になる。

このソフト「音声認識ランチャー F Light」は、ベクターのサイト「<https://www.vector.co.jp/soft/winnt/util/se511872.html>」から、ダウンロードする。

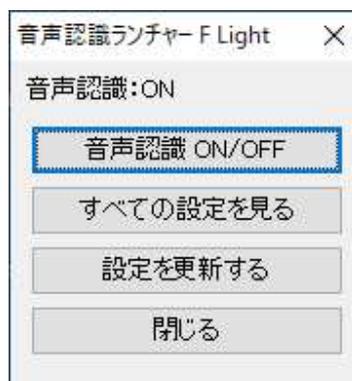
そうすると、「実行ファイル」、「Readme.txt」、「settings.ini」がダウンロードされる、「実行ファイル」をクリックするだけで起動し、タスクバーにアイコンが表示され、クリックすれば、下図が、デスクトップに表示される。



声でアプリを起動する時は、そのアプリに割り当てたキーワードをマイクに向かってしゃべる、声が認識されて画面上に「OK！」と表示されたら、アプリが起動するという仕組みだ、「電卓」、「メモ帳」、「ペイント」、「ファイアフォックス」などのアプリが最初から登録されており、声で起動可能だ。

その他のアプリを起動できるようにするのは、そのアプリのパスを設定ファイルに登録する、設定ファイルというのは「settings.ini」の事だが、何処だ、何処だと探す必要は無い、

ソフトが起動していれば(タスクバーにアイコンが表示されていれば)、「Pause」キーを押せば良い。



ここで、「すべての設定を見る」をクリックすれば、「設定ファイル」が現れるので、追加す

るアプリを、呼び出す時の「音声認識キーワード」と、「起動ソフトの場所(パス)」を記入し、上書き保存し、「設定を更新する」をクリックで完了。

音声認識キーワード1=電卓  
起動ソフトの場所1=calc.exe

音声認識キーワード2=メモ  
起動ソフトの場所2=notepad.exe

音声認識キーワード3=ペイント  
起動ソフトの場所3=mspaint.exe

音声認識キーワード4=ie  
起動ソフトの場所4=C:\Program Files\Internet Explorer\iexplore.exe

音声認識キーワード5=fox  
起動ソフトの場所5=C:\Program Files\Mozilla Firefox\firefox.exe

以上が既定、追加は下記で。

音声認識キーワード6=  
起動ソフトの場所6=

音声認識キーワード7=  
起動ソフトの場所7=

音声認識キーワード8=  
起動ソフトの場所8=

音声認識キーワード9=  
起動ソフトの場所9=

音声認識キーワード10=  
起動ソフトの場所10=

毎度のことながら、ダウンロード、使用は、自己責任で、質問は無しでお願いします。